

陽だまり通信

社会福祉法人
京都市西京区社会福祉協議会
京都市西京区桂良町23-4
TEL. 394-5711 FAX. 394-5712

平成
22年度

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

平成22年度の赤い羽根共同募金が終了し、西京区内では**11,880,367円**もの募金を寄せていただきました。

みなさまのあたたかい心がこめられた募金は今後、都道府県ごとに配分委員会の審査を経て、高齢者や体の不自由な人、子どもたちなどのために役立てられます。



※赤い羽根共同募金とは

民間の運動として戦後直後の1947年（昭和22年）に、市民主体の取り組みとしてスタートしました。現在では、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また、市民のやさしさや思いやりを届ける運動として、取り組みを進めています。赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。



区内で頑張る
団体を応援します！

赤い羽根共同募金を
財源とした助成金の
申請受付開始

助成金の交付を希望される団体は、所定の申請書に必要事項を記入の上、お申し込みください。

締切日 **4月30日(土)** *当日消印有効

対象 区内で活動されている福祉団体やボランティア団体

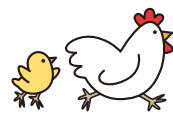
内容 平成23年4月1日(金)～平成24年3月31日(土)の間に実施する事業にかかる経費（ただし、団体の運営にかかる経費は除きます）

問い合わせ・申し込み先

社会福祉法人京都市西京区社会福祉協議会まで

申請に関する説明相談会を **4月12日(火)** に実施します。

参加を希望される方は区社会福祉協議会までお問い合わせください。



西京区の各地域での取り組みをご紹介します



桂東社会福祉協議会は、市社協より遅れて昭和44年に発足しましたので、今年で創立42年になります。その間、私達を取り巻く福祉の環境は大きく変化しています。

当学区では、誰もが共に等しく生き、かつ支え合い、いきいきと健やかに暮らせる、安心・安全の福祉のまちづくりを目指しています。そのため、社協と各種関係団体との連携の下に、近所同士の交流からさまざまな活動へ積極的な参加によって進めていく事が重要です。

◎ふれあい事業として、地域の高齢者を対象に「防災・防犯教室、新年のつどい、食事会、年末友愛訪問、買い物ツアー（仮称）とレクリエーション」を実施しています。

◎65歳以上の方ならどなたでも参加できる、「健康すこやか教室と昼食会」を実施しています。

◎桂東子どもネットワークの主催で桂東子育てサロン事業が、実施されています。

安心して子育てができる地域づくりと、子どもたちが心身ともに明るく健



桂東社会福祉協議会

人が輝く福祉の風土づくりを目ざして



康に育つ環境づくりを支援しています。又、小学生の登下校の見守り活動に協力しています。

◎生活支援事業として、独居高齢者の方々への配食サービス、寝具クリーニングサービスを実施しています。

◎広報誌発行と、敬老の日式典行事に参加しています。

福西社会福祉協議会

30周年記念事業 福祉のまちづくり 懇談・懇親のつどい

ア、障がい者支援、配食サービス支援など、日頃の活動体験から被支援者への接触の困難さ、近隣住民の情報有効性、地域諸団体役員・包括支援センター・区社協・行政の連携の必要性などについて意見交換をして、有意義な知見を確認しました。

懇親会では、西村会長から福西社協の30年のあゆみと活動の特徴を紹介するあいさつがあり、藤本自治連合会長の乾杯の音頭の後、参加者で飲食しながらお互いの地域福祉活動をねぎらい懇親を深めました。



2月20日（日）午後3時～8時まで、洛西エミナーズで、福西社協30周年記念事業・福祉のまちづくり懇談・懇親のつどいが開催されました。最初に、佛教大学社会福祉学部・岡崎祐司教授の基調講演があり、先生の問題提起「ニュータウンの集合住宅に住む80歳女性独居世帯に住民がどのように支援できるか」に基づいて、参加者が7グループに分かれて活発な討論を行いました。参加者は、社協ボランティア、民生委員、高齢者向け有償ボランティア

災害からの復興には 人と人とのつながりが大切！

平成23年1月21日（金）に京都市西文化会館ウエスティにて、同志社大学社会学部教授の立木

茂雄氏を講師としてお招きし、西京区災害時要配慮者支援シンポジウムを開催しました。



同シンポジウムでは、100名を超える地域住民のみなさまにご参加いただき、阪神・淡路大震災の被災直後から16年たった現在まで、災害からの復興に對しての住民意識がどのように変化していったのかを社会学の観点から明らかにし、西京区が被災した際に住民相互の助け合いがどのように必要になるのかを考える機会となりました。

講演の中では、阪神・淡路大震災当日の映像や音声資料、また、長期に渡って蓄積されたデータなどから、災害というのは、行政による救援だけでは支えることができない規模で起こる被害の事を言うため、住民相互の助け合いが不可欠になることや、そのうえで支え合いを通じた人と人とのつながりこそが、災害からの復興時に最も求められたものであることなどが紹介

災害時要配慮者とは？

ご高齢の方や障がいのある方、また、子どもや妊婦や日本語がわからない方など、災害時に何らかの配慮が必要になる方々のことを言います。

また、普段は配慮が必要でない方でも、被災によってケガを負うなどし、災害時要配慮者になることがあります。

区内で実践されている支え合いの活動こそが、つながり作りに必要な活動であることを再確認し、今後の指針とすることができました。



立木 茂雄氏

ご寄付のお礼

貴重なご厚志に心から感謝いたします。

平成22年12月	加藤 和夫 様	金	32,000円
平成23年 2 月	(株)西村信天堂 様	金	30,000円
平成23年 2 月	匿名 名	金	300,000円

本会事業促進のため
本会事業促進のため
地域における社会資源情報のネットワーク化と利活用促進のため



西京区ボランティア情報

ボランティアをはじめてみませんか？

ぼらぼらアンテナ

西京区ボランティアセンター
〒615-8083
京都市西京区西京区桂長町23-4
TEL: 075-394-5711
FAX: 075-394-5712

視覚障害者支援ボランティア養成講座

あなたがいれば安心して外出できる！ ～手引きボランティアしてみませんか？～

視覚に障害のある方は、外出の際に同行して手助けしてくれる方がいることで、どこへでも安心して行くことができるようになります。

この講座では、外出に同行する「手引きボランティア」について、視覚障害者との交流や、楽しみながらの体験を通じてお伝えします。

また、点訳や朗読の活動にもご興味のある方は、オプションの講座もご参加ください。たくさんの方のご参加をお待ちしています！



日 時 平成23年

5月18日(水) 10:00～16:00**5月21日(土) 10:00～16:00**

※両日とも同じ内容です。どちらか1日にご参加ください。

オプション：点訳・朗読の講座

(オプションのみの参加はできません。)

日 時 平成23年 5月25日(水) 14:00～17:00

5月28日(土) 14:00～17:00

※両日とも同じ内容です。どちらか1日にご参加ください。

会 場 身体障害者授産施設 洛西寮
(西京区大枝東長町1-67)

参加費 無料

定 員 各日とも20名(先着順)

内 容

- ・視覚障害者からのメッセージ講演
- ・食事をしながらの視覚障害体験
- ・視覚障害者の買い物に同行しての手引き体験

など

申し込み・問合せ先

身体障害者授産施設 洛西寮 (担当：大川) TEL 333-0171 FAX 333-0172
京都市西京区社会福祉協議会 (担当：永松) TEL 394-5711 FAX 394-5712

ボランティア活動中の事故に備えていますか？

平成23年度ボランティア保険加入受付開始のご案内

『ボランティア活動中の事故で人に怪我をさせてしまった』『活動風景の写真を撮っているときにカメラを落として壊してしまった』そんなことで困ったことはありませんか？この保険は、活動中の偶発的な事故によって起こった金銭的な被害に対応するためのものです。活動中の安心のために、ボランティア保険をご活用ください！

※平成23年度より、損害条項の補償内容が見直されています。

※その他、行事参加者を対象にした福祉行事保険もあります。

※詳しい内容が記載されたパンフレットと申し込み用紙は、各区社会福祉協議会及び京都市福祉ボランティアセンターで配布しています。

■補償内容・保険料

プラン			支払限度額・保険金額	
			A 300円／1名	B 500円／1名
賠償条項	対人	1事故	3億円（免責1,000円）	
	対物			
	受託物		3億円（免責5,000円）	
損害条項	死亡・後遺障害保険金		768万円	1,644万円
	入院保険金		日額6,200円	日額9,300円
	通院保険金		日額4,000円	日額6,200円
携帯品損害補償	1携帯品につき		10万円（免責1,000円）	